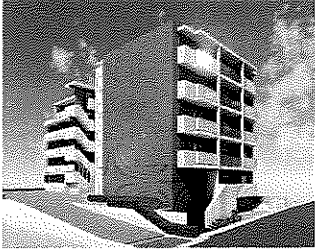
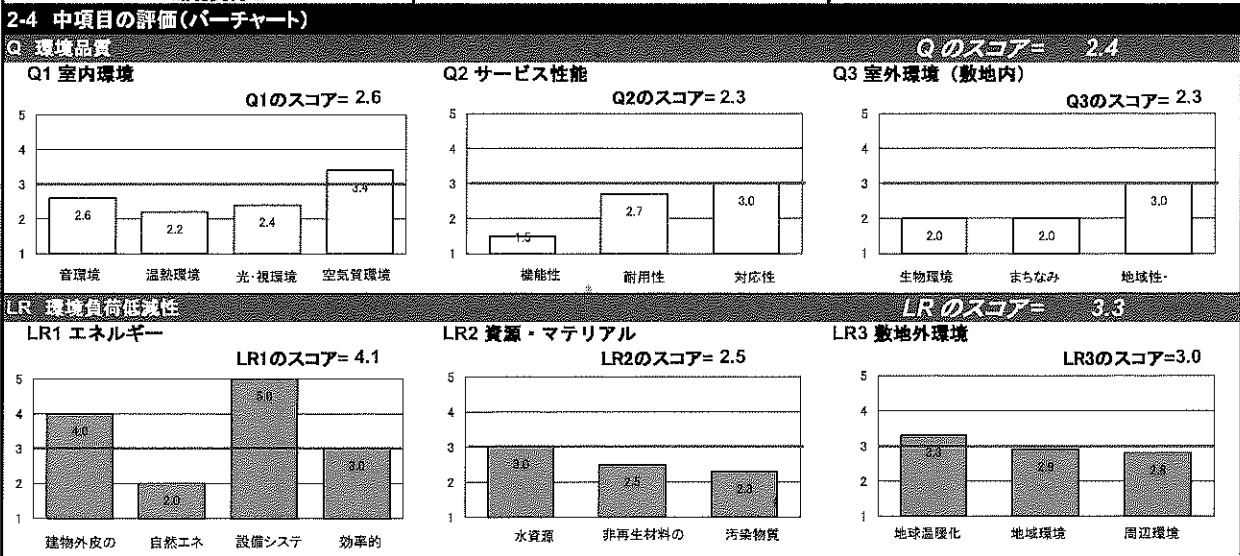
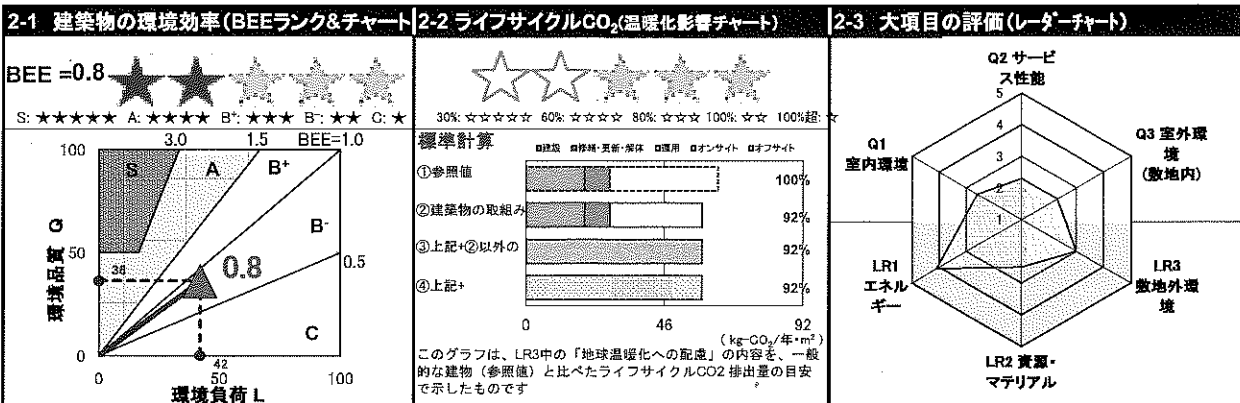


CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)有限会社大樹様マンションⅡ	階数		
建設地	京都府宇治市木幡東中7番1の1	構造		
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員		
地域区分	6地域	年間使用時間		
建物用途	集合住宅	評価の段階		
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日		
敷地面積	1,273 m ²	作成者		
建築面積	541 m ²	確認日	2024年3月29日	
延床面積	2,158 m ²	確認者		



3 設計上の配慮事項		
総合 断熱性能等級で等級4や、F☆☆☆☆の建材の使用等を行い付加価値を設けた。		その他 特になし。
Q1 室内環境 F☆☆☆☆の建材使用や、開口部遮音性能T-1の取得をし、利用者の健康と室内環境の向上に務めた。	Q2 サービス性能 空調・給排水配管に長寿命配管を採用し、環境に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 高い断熱性能のある建築材を採用することで建物の熱負荷抑制に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 特になし。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑制し、地球温暖化への配慮を行った。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される